

**留学先国名** : イギリス

**留学先学校名** : サウサンプトン大学

**留学期間** : 平成 26 年 9 月 3 日 ~ 平成 30 年 6 月 16 日

今回は、1 年目の後半に経験した「住まい探し」について報告します。

まず、「住まい探し」について。私はこの 1 年間、大学の寮に住んでいました。後期に入ると、来年度の大学の寮のアプリケーションが始まります。私の大学の留学生は 2 年まで大学寮を保証されていて、期日までに応募すれば必ずどこかの寮に入れます。それに対し、イギリスと EU の学生は、学生寮が保証されていないので、たいてい大学の管轄外の賃貸に住むことになります。別に留学生も必ず寮に住む必要はなくて、2 年目からは賃貸を探してそこに住むという選択肢もあります。ちなみに、賃貸はほぼ他人と同居する「シェアハウス」という形がほとんどで、日本の学生が親元を離れて住むような賃貸アパートやマンションとは違います。もし寮を出て賃貸に住むのなら、住む場所だけでなく、一緒に住む「ハウスメイト」も探さなければなりません。私は最初、2 年目も引き続き大学寮に住もうと考えていましたが、来年度の大学の寮の値段が今年度より上がっていること、賃貸に住んだ方が安くなるかもしれないということなどを聞いて、賃貸も考えることにしました。どの賃貸も基本的に 4~6 人向けの家で、家を見る前にハウスメイトを探す必要があります。しかし、仲の良い友達も、ほとんど 2 年目も寮、もしくは来年度はもう大学にいない、という人ばかりで、ハウスメイトを探すのが難しかったです。そんな中、Facebook でハウスメイトを探すためのグループを見つけ、そこで自分と趣向が合いそうな人、2 人と出会いました。1 人は留学生、もう一人はネイティブの学生で、どちらも 1 年生の女子です。一度会って話し、気が合ったので、一緒に家探しを始めましたが、それぞれの家に求める条件の食い違いやトラブル（家の見学をする約束を守らないなど）で、私は彼女たちと家を探すことをやめ、ほかに方法が思いつかないので寮にしようと思決めました。しかし、彼女たちのうちの一人、ネイティブの学生がグループを抜けた数日後に連絡をくれました。自分もグループを抜け、その後良い条件の家を見つけてそこに住むと決めたので、興味があったらぜひ、とのことでした。その家は当時上級生 4 人が住んでいて、小さい空き部屋が 1 つあり、来年度は空き部屋を含む 3 つの部屋が空くとのこと、さっきの学生はその 3 部屋のうちの 1 つに住むと決めていました。家によっては、部屋の大きさによって値段が違うことがあり、私はできるだけ節約したかったので少し小さな部屋でも構わないと思っていて、最初その紹介された家を訪れる前は、小さな部屋が気に入ればそこにしようと思っていました。しかし、家の見学で案内してもらった時に、大きな部屋もかなり手頃な値段で、小さな部屋は逆に提供された値段に納得できず、その大きな部屋に住むことにしました。正式な契約を結ぶのは数ヶ月先だったので、住んでいる人と約束は成立したので一安心していたら、数日後に自分の選んだ部屋にその当時住んでいた人が「出て行くと言ったけれど、やっぱり来年度もここに住む」と言い出しました。私はそんなのずるいと怒ったのですが、考え直してもらうことはできず、小さな部屋の方に住まないかと言われましたが、値段に納得できないこと以前に、そんな自分勝手な人とは住めないと思ったので、その家に住むのを諦めました。そして、やはり来年度は寮

にしようとしてアプリケーションを出しました。後々、アプリケーションの結果が来て、第一希望の寮にオファーが来たのですが、ちょうどそのオファーが来たあとに、結構仲の良いフラットメイト（同じ寮のブロックにいる人）が、自分のこれから住む家に空きが出たので一緒に住まないか、と言ってきました。彼女は友達4人と住む予定だったのですが、そのうちの1人が諸事情によりその家に住めなくなったとのことでした。彼女の友達のうち2人はよく寮に遊びに来ていたので知っていたし、もう1人も静かな人で印象が良かったのと、家自体と立地条件が良かったので、一緒に住むことにしました。結局、紆余曲折を経て、賃貸に納得した形に住むことが決まりました。住む場所を考える時に、上級生の先輩にいろいろ聞くようにしました。たとえば、だいたいの家賃の相場、不動産屋を頼らずに探す方法（仲介手数料を免れることができる）、水道光熱費のこと、インターネットのこと、メリット・デメリットなど、たくさんのことを教えてもらいました。いろいろ質問させてもらったときには、日本人の先輩、イギリス人の上級生の先輩たちと知り合っていて、ほんとによかったなと思いました。上級生は勉強のことだけでなく、こうやって生活のこともいろいろ教えてもらえるので、つながっておくのは大事です。また、個人的には、これら一連の家探しを、勉強と両立しながらやっていかなければいけないのが少ししんどいと感じ、またハウスメイト探しからしなければいけないのが少しストレスになりました。家に住むことを視野に入れながら、友達付き合いもしていかなきゃいけないのかな...とふと思ったりもしますが、そんなの私には無理だなとも思います。ですが、どんなに家自体や立地、価格が良くても、一緒に住む人という要素はかなり重要だなとも思います。いくら仲が良くても、慣習や生活態度の違いなどで揉めることもあるかもしれません。寮だと自分で隣人を選ぶことはできないし、だからこそ部屋の変更を希望できることもありますが、家は1年間の契約なので出て行くことができません。難しい選択ではありますが、今年度末もしくは来年度末に寮から出て行かないといけなくて、大学生活4年間のうちにシェアハウスを経験することになります。結局は住んでみないとわかりませんし、私もこれからどうなるのか、わくわくとどきどきで、不安もあります。実際住んでみてどう感じたのか、次回以降の報告書に書ければよいなと思います。